

New Sophia Hospital

ニューソフィアホスピタル

福岡歯科大学医科歯科総合病院

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号 TEL092(801)0411

No.17
2016.6



病院の理念

私たちは、安全で質の高い、思いやりのある医療を提供するとともに、豊かな人間性を備えた有能な医療人の育成に努めます

病院の基本方針

- 1.患者の皆様を尊重した医療
 - ・温かく思いやりのある医療を提供し、医療倫理の向上をめざします。
- 2.高度医療の提供
 - ・医学、歯学の専門診療科が協力し、総合的に高度な医療を提供します。
- 3.地域医療への貢献
 - ・地域の基幹医療施設として、病診連携の充実を図ります。
- 4.痛みのわかる医療人の育成
 - ・人間性豊かで有能な医療人の育成に努めます。

6月18日より
病院玄関前に西鉄バス乗り入れ



*写真はイメージです。

6月18日より、医科歯科総合病院玄関前に「歯科大病院」バス停が新設され、西鉄バスの本院への乗り入れが開始されます。

病院玄関前へのバスの乗り入れは、患者の皆様へのアンケートやご意見箱に寄せられるご意見のなかで数多くあげられていたもので、病院と西鉄バスが協議を行った結果、6月のダイヤ改正に合わせて運行が始まることとなりました。

病院玄関前ロータリーには、「歯科大病院」という名称でバス停が新設され、藤崎・天神・博多駅方面へのバスが、平日は1日あたり18便が運行されます。通院に大変便利になっておりますので、ぜひご利用ください。

なお、従来どおりの行先番号2番の「金武営業所」起終点（折返し）のバスもございますが、そのバスは福岡歯科大学南門の「福岡歯科大学前」に停車し、「歯科大病院」には停車いたしませんので、お気を付け下さい。

本院の特色～全身を診ることのできる歯科医師の育成～

安心安全な医療をお届けするためには、歯科と医科との連携が大切です。その点、本院は歯科医師と医師との連携が密で、お互いに協力しやすい環境にあります。患者の皆様におかれましてもどうぞお気軽にご相談いただきますようお願い致します。

また、医師と歯科医師の連携のためには、歯科医師にも医学の専門的知識が必要です。そこで本院では全国に先駆けて「口腔医学」を提唱し、歯科学生の医学教育にも力を注いでいます。

安心安全の方程式は歯科+医科=口腔医学



歯科医師と 医師との協力の 例として

ストマックくん

- 骨粗鬆症患者の抜歯における整形外科と口腔外科の協力
- 歯周病治療による糖尿病の改善
- 小児のアレルギーにおける小児科と小児歯科の協力
- 蓄膿症における耳鼻咽喉科と口腔外科の協力
- 高齢者の口腔ケアによる肺炎予防
- 舌痛に対する口腔外科、麻酔科、心療内科の協力
- 口臭についての口臭外来と消化器外科の協力
- ドライマウスとドライアイ=口腔外科と眼科

パート6

今回は、歯科・医科連携の一例として、口腔外科と眼科（ドライマウスとドライアイ）における協力をご紹介します。

お口の乾き、それは病気かもしれません～ドライマウスってご存じですか?～

口腔外科 講師 橋本 憲一郎

近年、お口の乾きを訴える方が増えています。加齢や糖尿病、薬の副作用、ストレスなどによって唾液の分泌量が減少しているために起こるとされており、ドライマウスといわれています。唾液には粘膜保護、抗菌、消化作用などの多くの役割があり、単なる水ではありません。つまり、唾液が減少した状態が続くと、カビの発生、むし歯や歯周病になりやすい、食事がおいしくない、しゃべりにくい、口臭がするなど、日常生活に大きな支障がでてきます。やがて体力や免疫力の低下をきたし、さまざまな病気にかかりやすくなってしまいます。

ドライマウスかな?と思ったら、まずは口腔外科にご相談下さい。お口に潤いを与える保湿力の高いスプレー、ジェル、うがい薬など使用して治療を開始します。必要に応じて、歯科医師や歯科衛生士によるプロフェッショナル口腔ケアを行い、お口の中を最大限にきれいにします。とても単純な方法ですが、これだけで症状が和らぎ、おいしく食事がとれるようになった患者さん多くいます。そのほかにも人工唾液や漢方薬を使用したり、唾液腺のマッサージなどを行うこともあります。

糖尿病、高血圧症、ストレスなどが原因と考えられた場合には内科や心療内科などの専門医と連携し、原因疾患の治療を行なながら、お口の保湿とケアを行います。お口の乾きが出現する有名な病気にシエーグレン症候群という、治りにくい自己免疫疾患があります。ドライアイを合併することもあり、眼科の専門医と連携して治療を進めていきます。

患者さんに見合った適切な対応が行われれば、お口の乾きを少しでも改善していくことができます。



ドライマウスの患者さんの舌



カビが生えた
ドライマウスの患者さんの舌

「目の乾き」だけではないドライアイの症状

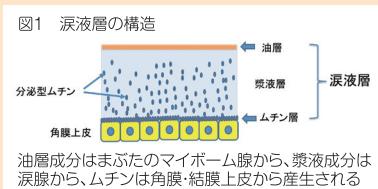
眼科 教授 川野 康一

ドライアイについて

ドライアイにドライマウスや全身の症状を伴うシェーグレン症候群は我が国の推定患者数は10万人～20万人と言われています。一方で、ドライアイは、我が国では潜在患者さんを含めると2,200万人ともいわれている大変頻度の高い疾患です。ドライアイは単に目が乾くという症状だけでは無く、目の違和感、異物感、疲れ、不快感、場合によっては目のかすみ感（視力低下）の原因になっていることもあります。本稿ではドライアイの最近の知見について解説します。

涙液層の構造とその乱れ

涙の水分は涙腺から分泌されますが、目の表面では涙の層は水分だけでは無く、水分（漿液層）の表面側には油層と呼ばれる脂質の層、角膜側にはムチン層と呼ばれる粘液層があり、漿液層の中にも分泌されたムチンが含まれています（図1）。これらの層があるおかげで涙の水分が角膜の上に一定時間均一にとどまっていることで角膜の表面の涙液層がきれいな光学面を保っています。油層成分はまぶたに（眼瞼）にあるマイボーム腺から分泌され、ムチンは結膜のムチン産生細胞から分泌されています。例えばこのムチンの減少があると、涙液層の均一な構造が保てなくなり、単に目が乾くという症状だけでは無く、かすみ感の原因になります。



BUT短縮型ドライアイ

ドライアイは涙液の分泌の不足がその主因ですが、近年ムチン層の変化による涙液層の変化によるドライアイの患者さんが多く存在する

ことが知られるようになりました。このタイプの患者さんは涙液分泌が正常でも、ムチン層の異常のため、目の表面の涙液層がすぐに壊れてしまい、結果的に目の表面が乾くことになります。このような状態を評価するためには、目を開いてから目の表面の涙の層が壊されるまでの時間（BUT:Break Up Time）を測ります。BUTが5秒以下の場合は、ドライアイが疑われます（図2）。このようなタイプのドライアイはBUT短縮型ドライアイと呼ばれ、前述したような眼の疲れやかすみなど様々な症状の原因となっていることがあります。

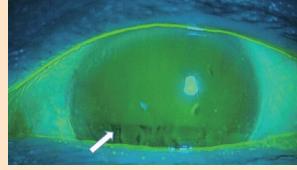
ドライアイの治療

ドライアイの治療はそのタイプや症状の程度によって異なります。涙液分泌減少に対しては水分補充のため、人工涙液、ヒアルロン酸入り点眼液、重症の場合は眼軟膏の使用、涙の排出口を塞ぐ涙点プラグの挿入（図3）などを行います。従来の点眼液では効果の少なかったBUT短縮型ドライアイに対しては、近年我国で開発されたムチン産生を誘導する2種の点眼薬（ジアホソルナトリウム、レバミビド）が用いられるようになり、症状の改善が得られるようになりました。

おわりに

軽いドライアイの方でも、パソコンやスマートフォンの使用に伴った瞬きの減少、コンタクトレンズ装用などはドライアイの増悪因子となります。特に現代はモニター上の細かい数字や文字を長時間見続ける機会が多くなっています。また長時間の運転や、エアコンの使用による空気の乾燥も増悪因子になるので注意が必要です。眼の乾きの自覚が無くても、眼の不快感、違和感が続く場合は一度眼科での検査をお勧めします。

図2 涙液層壊滅時間(BUT)の検査



涙液を色素で染色し、涙液層がなくなっている部位（矢印）を観察する

図3 涙点プラグ



下涙点に挿入されたプラグ（矢印）

言語聴覚士の仕事ってご存知ですか？

耳鼻咽喉科 言語聴覚士

「聞くこと」「喋ること」「食べること」、ごく自然に思われるこれらの行為が、不自由になる方々がいます。原因は、生まれつきのものから、突然の病気や事故によるもの、加齢に伴うものなど様々です。言語聴覚士は、このような方々を対象とした、リハビリテーションの専門職です。通称、ST (Speech-Language-Hearing-Therapist) と呼ばれ、国家資格となってからはまだ20年と新しい職種です。しかし、現在では、病院だけでなく福祉施設、保健施設（介護老人保健施設、デイケア）、小中学校などの教育現場、医療機器メーカー（補聴器、意思伝達装置の開発）など、幅広い場所で活躍をしているSTがいます。

実際に、「言葉が思い出せない」「話がわからない」（言語障害）、または、「声がかすれる」「ろれつが回らない」（音声・構音障害）、「食べ物が詰まる」「むせる」（摂食嚥下障害）など、これらの問題はどうして起こっているのか、まずは検査・評価を行います。それをもとに、機能回復をめざした訓練を行うこと、または代償手段と一緒に考えていくこと、その人らしい生活を送るためのお手伝いをすることが私たちの仕事です。

特に、これからの中高齢社会では、食べること・飲み込むこと（摂食嚥下）に不具合を生じる人は、益々増加することが予想されています。好きな物をいつまでも、美味しい食べていくために、何ができるか。一緒に考えていくべきだと思います。



この度の「平成28年熊本地震」で被害にあられた皆様そして被災地の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。皆様が一日も早く平穡な生活を取り戻されますよう心よりお祈り申し上げます。さて、今回のニュースフィアホスピタルは、加齢に伴い増えてくる口と目の乾き、「ドライマウスとドライアイ」について、口腔外科と眼科からの耳寄りなお話と、耳鼻咽喉科から言語聴覚士が医師と協働してご高齢の方の「食べること」、「聞くこと」、「喋ること」をサポートさせて頂くチーム医療のお話を紹介させていただきました。また、6月18日より病院玄関前に西鉄バスの乗り入れが開始されます。本院のスタッフ一同は、医科と歯科が緊密に連携できるという特色を生かして、地域の皆様により安心して通っていただける病院となるようサービス向上に努めてまいります。これからもご意見、ご要望を気軽に寄せ下さい。

サービスマナー向上委員会 阿南 壽

患者の皆様の権利

- ① だれもが個人の尊厳を尊重され、良質な医療を公平に安心して受ける権利があります。
- ② 患者には、病気や診療内容について納得できる十分な説明と情報を受ける権利があります。
- ③ 患者には、十分な説明と情報提供を受けた上で治療方法などを自らの意思で選択・決定する権利があります。
- ④ 患者には、診療における個人情報の秘密が守られ、プライバシーが保護される権利があります。
- ⑤ 患者には、ご自身の診療録の開示を求める権利があります。

患者の皆様へのお願い

- ① 良質な医療の提供をうけるために、ご自身の健康に関する情報を正確に提供してください。
- ② 納得のいく医療の提供を受けるために、医療に関する情報と説明について十分理解できるまで質問してください。
- ③ すべての患者の皆様が等しく適切な医療を受けるために、他の患者や病院職員に支障を与えないよう配慮してください。

交通のご案内



P 大駐車場完備(150台) 広い駐車場なので、待ち時間がなく駐車できます。ご利用下さい。



診療時間 平日: 9:00~18:00 土曜日: 9:00~13:00

受付時間 平日: 8:30~17:00 土曜日: 8:30~11:30
医科の新患・予約外の受付は15:00まで

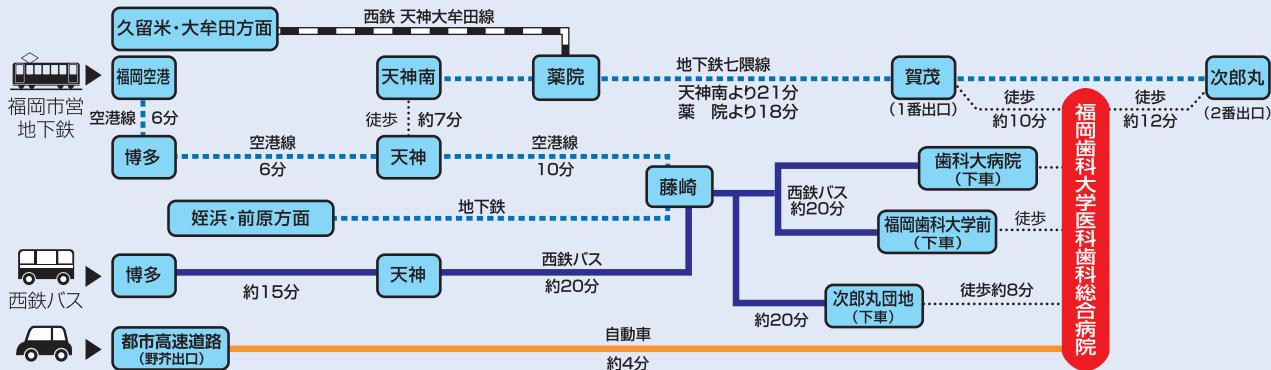
休診日 日曜日・祝日・年末年始

入院患者面会時間 平日: 13:00~20:00 休日: 10:00~20:00

スマートフォン専用QRコード



主要な経路のご案内



福岡歯科大学医科歯科総合病院

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号

ホームページアドレス <http://www.fdcnet.ac.jp/hos/>

お問い合わせは
(092) 801-0411(代)

FAX
(092) 801-0459

ご予約の変更や各診療科へのお問い合わせは(092) 801-0411代にダイヤルし、次の内線番号を告げてください。

総合歯科	127	口腔インプラント科	277	内科・脳血管・循環器・腎臓・糖尿病	203	皮膚科	709
口臭クリニック	127	口腔外科	243	小児科・神経小児科	511	耳鼻咽喉科	140
高齢者歯科	127	口腔顔面美容医療センター/歯科	277	心療内科	137	眼科	210
訪問歯科	347	矯正歯科	344	外科・消化器・腫瘍・乳腺・肛門	205	麻酔科(ペインクリニック)	246
保存(むし歯)・歯周病科	278	小児歯科	242	整形外科・リハビリテーション科	349	放射線診断科	209
補綴(入れ歯)科	289	障害者歯科	223	形成外科・美容外科	211	病棟	251